

KING LUCKY

完全ワイヤレスイヤホン i20








取扱説明書







1.安全上の注意



本製品を安全に正しく使用していただくために、ご使用前に必ずお読みください。また、いつでも見られるところに保管してください。






警告図記号の意味

 危険 : 死亡または重傷を負う可能性が高い内容
 警告 : 死亡または重傷を負う可能性がある内容
 注意 : けがをしたり財産の損害が生じる可能性がある内容
 : 分解禁止  : 行為を禁止  : 注意を促す  : 行為を指示

(1) 使用に関する事項

 危険	
	本製品には充電式電池(リチウムポリマー電池)を内蔵しているので、分解したり傷つけたりしない。 発火、発熱、液漏れ、破裂、誤飲による大けがや失明する恐れがあります。
	火のそば、直射日光のあたるところ、炎天下の車内、高温の場所で使用・保管・放置しない。 火災、発熱、液漏れ、破裂、故障の原因になります。 水気の多い場所で使用・保管・放置しない。 本製品内部に液体が入ると、火災、感電、故障の原因になります。
	専用の充電ケースと付属の充電ケーブルを使い、指定の方法で充電する。 指定以外の方法で充電すると、発熱、液漏れ、破裂、故障の原因になります

 警告	
	充電ケーブルを破損させない。(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、束ねるなど) ショートによる火災の原因となる場合があります。
	充電ケースに本機イヤホン以外の物を入れない。 火災、感電、故障の原因となる場合があります。
	イヤホンの充電端子が濡れたまま、充電ケースに入れない。 感電、けが、故障の原因となる場合があります。
	充電ケースの充電端子を指や手などで触らない。 感電、けが、故障の原因となる場合があります。
	イヤホンや充電ケース、充電コードの上に重いものを載せない。 破損や故障、コード損傷による火災や感電の原因となります。
	自動車など乗り物の運転中、周囲の音が聞こえないと危険な場所(踏切や駅のホーム、車の通る場所、工事現場など)で使用しない。 事故の原因となります。
	乳幼児の手の届く場所に放置しない。 誤飲など思わぬ事故を招くことがあります。
医療機関の屋内や医療用電気機器の近くで使用しない。	

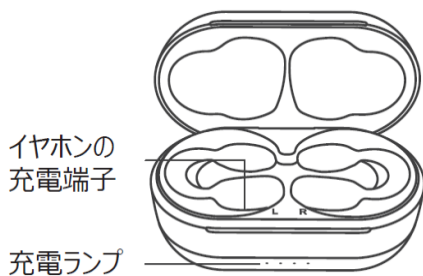
	<p>本機からの電波が医療用電気機器の作動に影響を及ぼすことがあり、事故の原因となる恐れがあります。</p> <p>満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので使用しない。</p> <p>本機からの電波が心臓ペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。</p> <p>自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使用しない。</p> <p>電波の影響で誤作動の原因になる恐れがあります。</p> <p>長時間、大音量で聴き続けない。</p> <p>聴力障害などの原因となることがあります。</p>
	<p>心臓ペースメーカーを使用しているときは、着装部位から22cm以上離す。</p> <p>本機からの電波が心臓ペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。</p> <p>航空機内では航空会社の指示に従って適切に使用する。</p> <p>本機からの電波が影響を及ぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。</p> <p>使用中に煙が出たり、異臭や異音、過剰な発熱などの異常が発生したときは、直ちに使用や充電を中止し、電源を切るとともに、充電ケースからイヤホンを取り出す。</p> <p>その後は本製品を使用しないで、弊社お問合せ先までご連絡ください。</p>
 注意	
	<p>振動や衝撃の多い場所、不安定な場所(ぐらついた台や傾いた台など)に置かない。</p> <p>落下して破損や故障の原因となります。</p> <p>石けんの泡やオイルのついた手で触らない。</p> <p>水分が浸入する可能性があります。</p> <p>ドライヤーで乾かさない。</p> <p>変形する可能性があります。</p> <p>シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない。</p> <p>変形・変色の原因となります。</p> <p>イヤホン及び充電ケースに、キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない。</p> <p>本製品に内蔵された磁石の影響により、カード情報が損なわれる恐れがあります。</p> <p>ズボンなどの後ろポケットに本製品を入れたり、かばんの中に入れたりしたままにしない。</p> <p>気づかずに椅子などに座ったり、かばんに力が加わったりして、変形や破損、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>充電中及び充電直後のイヤホンは高温になっていることがあるので、取り出し後すぐに装着する場合は注意する。</p> <p>高温の状態で使用すると肌の赤みやかゆみ、かぶれの原因になる恐れがあります。</p> <p>イヤホンの接続前に音量を下げる。</p> <p>音量を上げすぎた状態で接続すると、突然大きな音が出る恐れがあります。</p> <p>耳や肌に異常を感じたら使用を中止する。</p> <p>そのまま使用すると炎症やかぶれの原因になる恐れがあります。</p>

(2) 破棄に関する事項

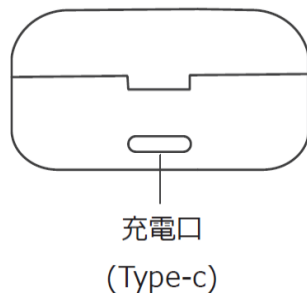
- ① 内蔵している充電式電池は貴重な資源としてリサイクルが可能です。
- ② 本製品を破棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

2.各部名称

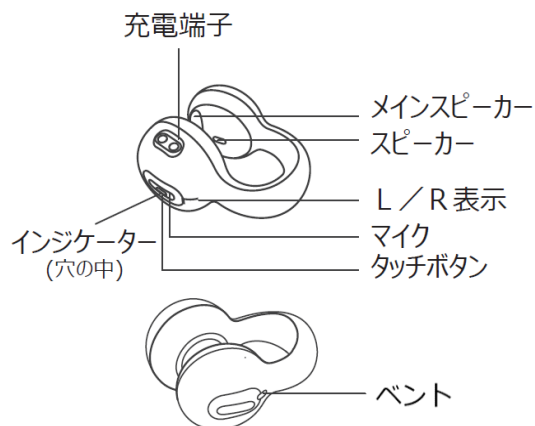
充電ケース正面



充電ケース背面



イヤホン本体



3.装着方法

- ① L側/R側に注意し、自在に折り曲がる柔らかい部分を広げて耳にそっと挟みこみます。
- ② 耳輪に沿わせて安定する位置にセットします。



4.充電方法

(1) 充電ケースの充電

- ① 充電ケースにイヤホンを入れて充電すると、充電ケースとイヤホンともに充電されます。
- ② USB ACアダプタ(市販品)を使用する場合、先にアダプタのプラグを家庭用コンセントに差し込みます。
- ③ 付属の充電ケーブルのType-A端子をアダプタまたはパソコンのUSBポートに差し込みます。
- ④ 充電ケーブルのType-C端子を充電ケース背面の充電口に差し込みます。
- ⑤ 充電中は充電ランプが点滅し、充電が完了すると点滅が点灯に変わります。
- ⑥ 充電が完了したら充電ケーブルのType-C端子、Type-A端子、アダプタのプラグの順に抜き出します。

(2) イヤホンの充電

- ① イヤホンに水や汗が付着している場合は、よく拭き取ります。
- ② 充電済みの充電ケースにイヤホンを入れて蓋を閉じる^{*1}と、充電が始まります。
- ③ 充電中は充電ランプが点灯し、充電が完了すると8秒後に消灯します。

※1 イヤホンを充電ケースに入れただけでは充電は始まりません。

充電ランプの表示内容

充電状態	充電ケース充電時	イヤホン充電時 バッテリー残量表示時 ^{※2}
100%	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
80%以上	○ ○ ○ ☀	○ ○ ○ ●
50~80%	○ ○ ☀ ●	○ ○ ● ●
20~50%	○ ☀ ● ●	○ ● ● ●
20%以下	☀ ● ● ●	● ● ● ●

※2 充電ケースの蓋を開けると8秒間バッテリー残量が表示されます。

5.イヤホンの電源オン

(1) 自動電源オン

- 1 充電ケースの蓋を開けると、電源が自動的にオンになります。
- 2 片方使用の場合、充電ケースから左右どちらか片方のイヤホンだけを取り出し、充電ケースの蓋を閉じると、インジケータが青点滅します。
- 3 両方使用の場合、充電ケースから取り出さなくても、イヤホン同士が自動的にTWS接続^{※1}されメイン機^{※2}のインジケータが青点灯し、サブ機^{※2}のインジケータは消灯します。
- 4 イヤホンは、**2**および**3**の場合ともにペアリングモード^{※3}になります。

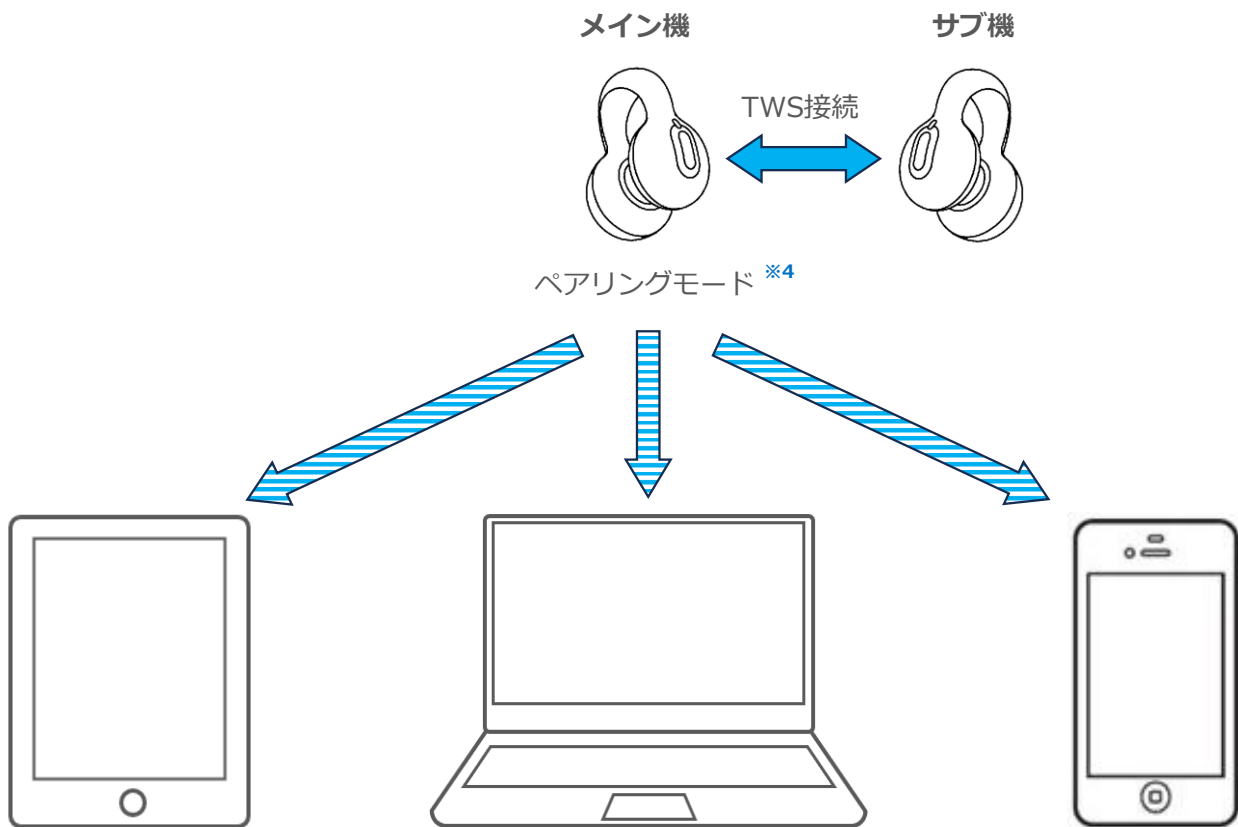
※1 TWS(True Wireless Stereo)接続とは、ステレオ音源を再生するため、左右のイヤホン同士をBluetoothで接続することです。

※2 メイン機とサブ機は左右ランダムに設定されます。

※3 イヤホンがペアリングモードになるとは、イヤホンが接続可能なBluetooth機器を検出し接続待機状態になることです。

(2) 手動電源オン

- 1 イヤホンが充電ケースから取り出されている状態で電源がオフのとき、そのイヤホンのタッチボタンを5秒間ロングタップすると、電源がオンになりインジケータが青点滅します。
- 2 片方使用の場合、もう片方のイヤホンの電源をオフにしたままにします。
- 3 両方使用の場合、もう片方のイヤホンの電源がオンになっているか、電源をオンにすると、イヤホン同士が自動的にTWS接続されメイン機のインジケータが青点灯し、サブ機のインジケータは消灯します。
- 4 イヤホンは、**2**および**3**の場合ともにペアリングモードになります。



※4 TWS接続の場合、メイン機のみがペアリングモードになります。

6.イヤホンの電源オフ

(1) 自動電源オフ

① 充電ケースにイヤホンを入れて蓋を閉じる^{※1}と、そのイヤホン^{※2}の電源が自動的にオフになります。

※1 蓋を開けたままにすると、イヤホンの電源はオフにならず充電も始まりません。

※2 TWS接続していた場合、もう片方のイヤホンは、メイン機かサブ機にかかわらず、それまでの状態が維持されます。

(2) 手動電源オフ

① イヤホンのタッチボタンを5秒間ロングタップすると、そのイヤホン^{※2}の電源がオフになります。

※2 TWS接続していた場合、もう片方のイヤホンの電源もオフになります。

(3) 節電自動電源オフ

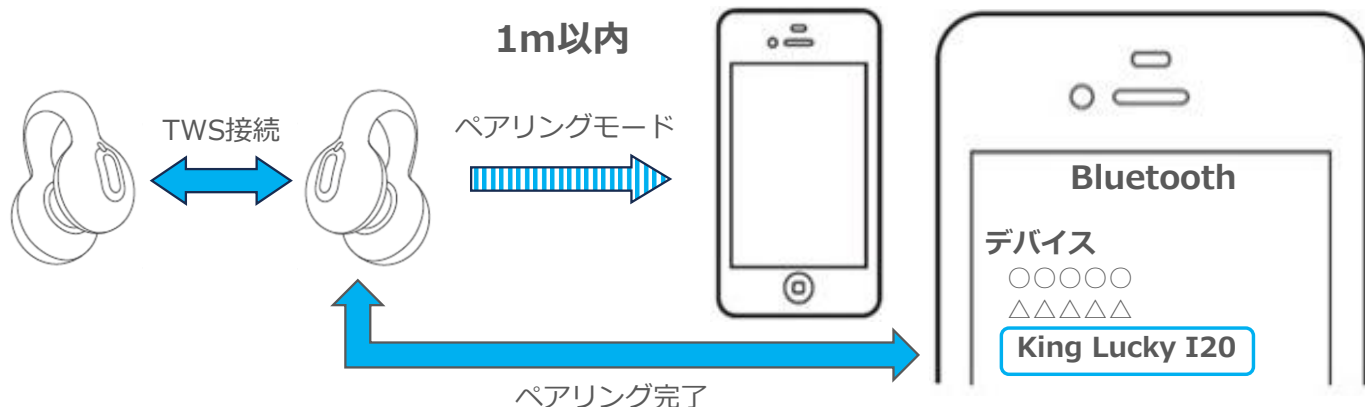
① Bluetooth機器との接続がない状態が5分間続くと、節電のため自動的に電源がオフになります。

7. Bluetooth機器とのペアリング

(1) Bluetooth機器の初期登録

① 片方または両方のイヤホンの電源をオンにしてペアリングモードにします。

- ② 接続しようとするBluetooth機器を1m以内の範囲に置き、接続機器側^{※1}で登録をします。
 - ③ 接続機器側のBluetooth設定画面で、デバイスの中から「King Lucky I20」を選択します。
 - ④ Bluetooth機器とのペアリングが完了して接続し、イヤホンのインジケータが消灯します。
- ※1 接続機器側の操作については、各機器付属の取扱説明書を参照してください。



(2) マルチペアリング

- ① 複数^{※2}のBluetooth機器を登録できます(マルチペアリング)。
- ※2 複数のBluetooth機器との同時使用はできません(マルチポイント未対応)。

(3) オートペアリング

- ① 登録したBluetooth機器側がペアリングモード^{※3}になっていれば、次回以降はイヤホンの電源をオンにすると自動的にその機器と接続^{※4}します。

※3 Bluetooth機器側がペアリングモードになっているとは、Bluetooth機器が以下のすべてに該当しない状態にあり、本イヤホンを検出し接続待機状態になっていることです。

- ・イヤホンと10m以上離れている
- ・イヤホンとの間に障害物がある
- ・電源がオフになっている
- ・Bluetoothが設定オフになっている
- ・他の機器と通信中である

※4 Bluetooth機器の種類によっては、その機器がペアリングモードであるにもかかわらず自動的に接続しない場合があります。

イヤホンの状態	インジケータの点灯		
	両方使用		片方使用
	メイン機	サブ機	
電源オン後のBluetooth機器との接続待機中	●	●	☀
Bluetooth機器との接続中	●	●	●
接続解除後のBluetooth機器との接続待機中	☀	●	☀
両方→片方変更後のBluetooth機器との接続待機中			☀
電源オフ	●	●	●

8.基本操作

機能 Control ^{※2}		両方使用		片方使用 ^{※1}
		L側	R側	L/R側
音楽再生	再生／一時停止 ^{※3}	1回タップ(任意側)		1回タップ
	前の曲へスキップ	2回タップ		
	次の曲へスキップ		2回タップ	2回タップ
	音量を下げる ^{※3}	3回タップ		3回タップ
	音量を上げる		3回タップ	
通話	通話応答(着信中)	1回タップ(任意側)		1回タップ
	着信拒否(着信中)	2回タップ(任意側)		2回タップ
	通話終了(通話中)	2回タップ(任意側)		2回タップ
音声アシスタント呼出 (SIRI・Googleアシスタント)		2秒ロングタップ		2秒ロングタップ

※1 片方使用の場合、L/R側の操作の区別はありません。

※2 一部のBluetooth機器では、イヤホン側で音楽再生ソフトを起動して再生開始できるものもあります。ただし、同じ機器でも使用する音楽再生ソフトにより動作しない場合があります。

※3 片方使用の場合、「前の曲へスキップ」と「音量を上げる」機能はありませんので、接続機器側で操作してください。。

9.使用上の注意

(1) Bluetoothについて

① 本製品の使用周波数帯(2.4GHz)では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、免許を要するアマチュア無線局等が運用されています。本製品を使用する前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。また、万一、本製品と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるかまたは運用(電波の発生)を停止してください。

② Bluetoothの通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

③ 本製品はBluetooth通信時のセキュリティーとして、標準規格に準拠したセキュリティー機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いかねます。

④ Bluetooth標準規格に適合していても特性や仕様によっては、本機と接続できない場合や動作が異なる場合があります。

- ⑤ 多くの電波が飛び交う場所では通信に障害が発生することがありますが、Bluetooth無線技術の特性によるもので本製品の不具合ではありません。
- ⑥ 動画視聴時などに本機側での音声がわずかに遅れますが、Bluetooth無線技術の特性によるもので不具合ではありません。
- ⑦ 2.4GHz帯を使用する無線LANは同一周波数帯を使用するため、無線LAN機器の近辺で使用すると音声途切れたりノイズが発生したり接続できなくなることがあります。

(2) バッテリーについて

- ① 十分に充電したにもかかわらずバッテリー持続時間が半分程度になった場合は、内蔵されている充電式電池の寿命と考えられます。
- ② 許容動作環境(温度: 0℃～40℃、湿度: 20～80%、結露なきこと)を外れた環境で充電を行うと、フル充電になっていなくても、充電が完了することがあります。適切な環境で再度お試しください、それでも問題が解決しない場合は弊社お問合せ先までご連絡ください。
- ③ 長期間使わなかったときは、イヤホンや充電ケースのバッテリー持続時間が短くなる場合があります。この場合は何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

(3) 防水性能について

- ① イヤホン本体、充電ケース及び充電ケーブルは防水仕様ではありません。水がかかるおそれのある場所での使用、充電及び保管はしないでください。
- ② 水の浸入による故障につきましては、保証期間内でも有料修理となります。

10.お手入れ

- ① 日常のお手入れは柔らかい布でから拭きしてください。
- ② 汚れがひどい場合は、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後から拭きしてください。
- ③ 充電端子の汚れは、乾いた綿棒などで拭き取ってください。

11.故障かな?と思ったら

① 故障かな?と思ったら、下記をチェックしてください。

症状	チェック事項
充電ケースの充電ができない	充電ランプが点灯しているか確認してください。 充電ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 パソコンに接続している場合、パソコンが省電力モードやスリープモードになっていないか確認してください。
イヤホンの充電ができない	充電ケースの充電残量を確認してください。 イヤホンや充電ケースの充電端子に汚れなどが付着すると、充電ができなくなる場合があります。汚れを乾いた綿棒などで拭き取ってから再度お試しください。
イヤホンの電源が入らない	充電ケースからイヤホンを取り出しても自動で電源が入らない場合、手動で電源を入れてください。 手動でも電源が入らない場合、フル充電してから再度お試しください。
ペアリング接続ができない	接続機器との間に障害物があったり、距離が離れすぎているか確認してください。 接続機器の電源が入っているか確認してください。 接続機器がスリープ状態になっていないか確認してください。 接続機器が他の機器と通信していないか確認してください。 接続機器が本機のプロファイルに対応しているか確認してください。 接続機器側で本機の登録が削除されていないか確認してください。
ペアリングがうまくいかない	意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器のBluetooth設定をオフにしてください。 接続機器が接続可能状態にあるにもかかわらず自動的に接続しない場合は、その機器のBluetooth設定画面で、デバイスの中から「i20 pro」を選択してください。 接続機器のBluetooth設定を一旦オフにし、再度オンに切り替えてください。 接続機器の電源を一旦オフにし、再度オンに切り替えてください。 イヤホンの電源を一旦オフにし、再度オンに切り替えてください。
ノイズやエコー音がしたり、音声が途切れる	2.4GHzの周波数を使用する機器(電子レンジ、無線LAN機器、自動ドア、コードレス電話機など)が近くにないか確認してください。 イヤホンのバッテリー残量が少ない時に、接続機器との接続が不安定になることがあります。フル充電してから再度お試しください。

② 上記のチェックで問題が解決しない場合は、修理をご依頼ください。

12.主な仕様

イヤホン	
カラー	● ● ● ● ● ●
装着方法	クリップ式
材質	形状記憶合金ワイヤ+シリコン
型式	オープンイヤー型(空気伝導)
無線方式	Bluetooth5.3
パワークラス	Class2
最大通信距離	約10m
使用周波数帯域	2.4GHz帯
対応プロファイル	HFP/HSP/A2DP/AVRCP/SPP/PBAP
対応コーデック	SBC/AAC
再生可能ファイル	MP3/WMA/APE/FLAC/AAC /MP4/M4A/WAV/AIF/AIFC
ドライバー駆動形式	ダイナミック型
ドライバー口径	φ13mm
出力音圧レベル	111dB±3dB
インピーダンス	16Ω
再生周波数帯域	20Hz~20kHz
内蔵マイクタイプ	MEMSマイク
マイク感度	-42dB±3dB
指向性特性	無指向性
音声アシスタント	SIRI/Googleアシスタント
装着検出	あり
バッテリー容量	30mAh
使用時間	連続 約4時間、最大 約20時間(充電ケース併用)
充電時間	約2時間
外形寸法 (片側)	約 W22×D17×H33mm
重量 (片側)	約4.9g
充電ケース	
バッテリー容量	300mAh
充電時間	約2.5時間
外形寸法	約 W75×D40×H36mm
重量	約40g
付属品	
充電ケーブル	USB Type-C
保証書	保証期間1年

- ※ 最大通信距離、使用時間、充電時間はあくまで目安であり、使用状況によって異なります。
- ※ 仕様及び外観を予告なく変更する場合や取扱いを中止する場合があります。
- ※ 本書で使用しているイラストは、実際の製品と異なる場合があります。

13.保証とアフターサービス

(1) 保証期間

交換：ご購入日から3ヶ月間

修理：ご購入日から1年間

(2) 保証内容

当社が定める保証期間内に、適切な使用環境および使用方法で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。

以下の場合には保証期間内でも修理実費をいただき、故障の状況によっては修理できないこともあります。また修理の際、当社の判断で製品交換とさせていただくことがありますのでご了承ください。

- (1) 本保証書がない場合
- (2) 本保証書にご購入日・販売店名の記入捺印または、それに代わるご購入を証明する書類（レシート・納品書等）がない場合
- (3) 本保証書またはご購入を証明する書類に偽造、改変などが認められた場合
- (4) ご購入後の落下、衝撃などによる故障
- (5) 使用上の誤りによる故障
- (6) 本製品以外の機器が原因となって生じた故障
- (7) 当社以外で行われた修理、分解、改造で生じた故障
- (8) 一般家庭用途以外での使用で生じた故障
- (9) 外的要因（火災、異常電圧等）、天変地異（地震、雷、風水害等）などの不可抗力による故障
- (10) その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合

この保証規定は、日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

(3) アフターサービス

- ① 修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社「製品に関するご相談窓口」にご相談ください。
- ② 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- ③ 保証期間が過ぎた場合は修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社「製品に関するご相談窓口」にご相談ください。

株式会社KING LUCKY 〒105-0004 東京都港区新橋3-4-10 HP : https://www.kinglucky.jp E-mail : info@kinglucky.jp	製品に関するご相談窓口
	TEL : 03-3528-8268 [受付時間] 10:00~17:00 (土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く)